

I-LISS Japan Chapter (国際図書館情報学会日本支部) 2021 年度 総会 議事録

1. 日時：2021 年 11 月 27 日 (日)13:00～14:00
2. 場所：大阪市中央公会堂 地下 1 階 第 4 会議室 (大阪市北区中之島 1-1-27)
3. 出席者数：8 名

議事の経過の概要及び議決の結果

中村恵信事務局長より、本日の総会は国際図書館情報学会日本支部規約により有効に成立していることが宣言された。

議長選出

原田安啓理事が議長に選出された。

1. 一般報告

① 会員名簿 (別途配布)

会員名簿の報告があった。訂正箇所については、以下のとおり。

大城善盛 (理事) → (副会長理事) 藤間真 (委員) → (副会長理事)

龍谷大学准教授 → 龍谷大学教授 京都橘大学 → 京都橘大学教授

2. 第 1 号議案 (2021 年度 活動報告)

① 研究大会の開催

本日 (11 月 27 日), 2021 年度 I-LISS Japan Chapter の研究大会が行われたことの報告があった。

② 2020 K-LISS/I-LISS, International Conference 2020. 23 October, 2020 [Web] 4 名発表 標記の研究大会に出席したことの報告があった。

③ 国際図書館情報学会日本支部図書館情報学研究集会 2020

2020 年 12 月 26 日 (土) 午前 10 時～12 時山本昭 (愛知大学文学部) 「図書館でつなぐアジアの知」 (日本図書館研究会比較図書館情報学研究グループ 2020 年 12 月研究例会及び 2020 年度第 9 回図書館を学ぶ相互講座共催) [Web 開催]

標記の研究集会を開催したことの報告があった。

④ 4th I-LISS International Conference of “Transition or Transformation of Libraries due to COVID Pandemic: Lessons to Learn” (Virtual Mode) Central Library, The Tamil Nadu Dr. Ambedkar Law University, Chennai, Tamil Nadu, India.

2021 年 10 月 7・8 日出席

標記の研究大会にて研究発表 (1 名研究発表) が行われたことの報告があった。

(*I-LISS HP より発表情報を転記)

Some Lessons Learned from Experiences of School Libraries, Including Librarians, in

Japan during the Challenging Times of COVID-19. Zensei Oshiro (Retired Professor. Vice-president of I-LISS Japan Chapter)

A Study of Public Services of Public Libraries in Japan during the Challenging Times of COVID-19 - Cases of Osaka City Library, Kobe City Library and Kyoto City Library. Miyuki Yamada, Dr. Tsutomu Shihota, Dr. Kazuko Maekawa and Zensei Oshiro (Japan)

⑤ 学会誌の発行

学会誌が下記のとおり発行されたことの報告があった。

- Journal of I-LISS Japan Vol.2, No.2 (March 2020)
- Journal of I-LISS Japan Vol.3, No.1 (September 2020)
- Journal of I-LISS Japan Vol.3, No.2 (March 2021)
- Journal of I-LISS Japan Vol.4, No.1 (September 2021)

3. 第2号議案 (2019 年度 会計報告)

① 会計報告 (別紙配布)

家瀬淳一監事から、会計報告は適切に処理されている旨、報告があった。質疑応答の中で面地豊基金に対する質問があり、志保田務会長から、面地豊氏から寄付があったことの説明があった。

4. 第3号議案 (The 6th I-LISS 2023 International Conference)

① The 6th I-LISS 2023 International Conference の日本開催について

まだ正式決定ではないが、2023 年に I-LISS 国際大会が日本で開催される可能性が高いことから、会場や実施形態 (オンライン形態の併用など) を決めておく必要がある。会場は、海外からの参加者が宿泊できる施設が近いことなどが求められることから、駅前のサテライト教室なども候補として考えられる。いずれにしてもコロナの情勢により、施設貸与が難しくなる可能性も考慮しておかなければならない。また 2022 年度開催という可能性もあり、その場合はオンラインに限定して実施することも可能かも知れないとの意見が出た。

これらのことを進めるにあたっては日本支部の現状に鑑み、できるだけ簡素な形での開催を目指すこと、支部会計に余裕がないため支部からの支出可能額は非常に少ないものとなり本部からの大幅な支援が望まれること、という点についても意見が一致し、さらにこれらについて本部に連絡することが望ましいことについても意見が一致した。

これらの協議内容をふまえ、開催年のことも含めてまず Oh 先生に打診するということで了承された。

また協議のなかで、宿泊についてケアするのは VIP のみで最大でも 1 桁人数程度で抑える方が良いといった意見や、参加費用の収集方法等についての問題提起もあり、今後検討していくことになった。

5. 第4号議案(支部会長，支部役員選挙)

役員について，以下のとおり変更が了承された。

- 志保田務 会長 → 志保田務 会長 兼 編集委員長
- 大城善盛 編集委員長 → 大城善盛 会長補佐
- 村上幸二 編集委員 → 村上幸二 事務局長補佐
- 常世田良 編集委員

6. 第5号議案(新規入会方法について)

I-LISS 日本支部への入会は，年間 3,000 円の会費を支払うことで可能である。なお I-LISS 本部への会費支払いは，本部から支払依頼があった場合に支払うようにするという事で，当面様子を見ることになった。

その他

総会の後，大城善盛会員，面地豊氏の表彰が行われた。副賞の授与は辞退され，I-LISS 日本支部に全額寄付された。その後，記念講演が行われた。

以上